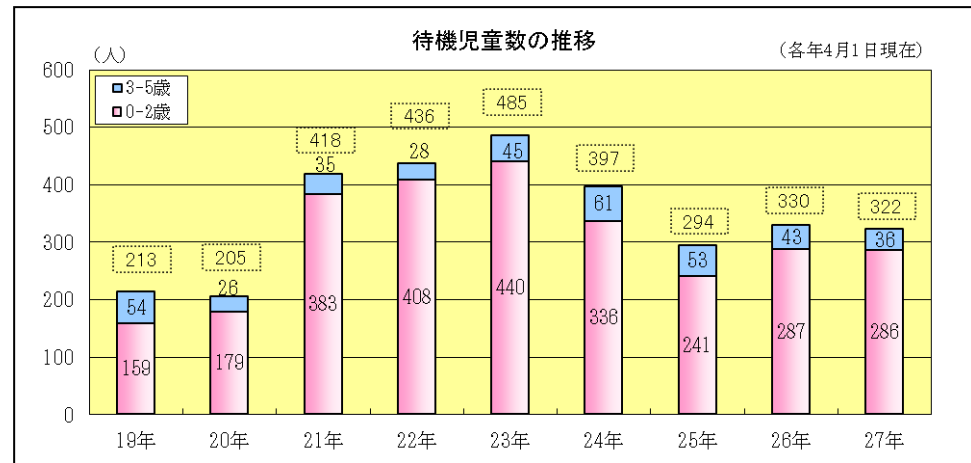


3. 足立区の待機児童の状況

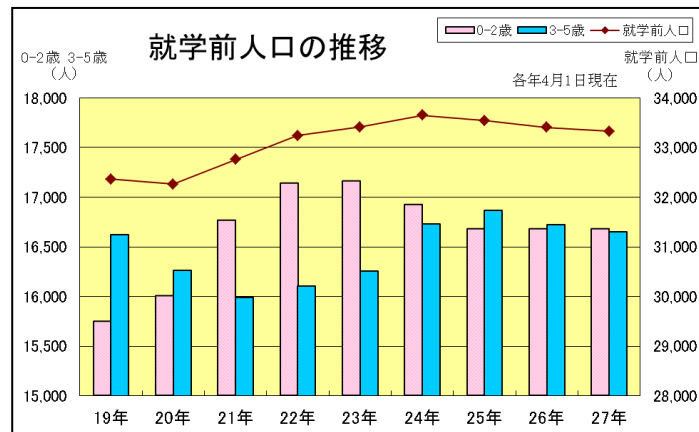
足立区の待機児童は、平成23年の485名をピークに減少傾向にあります。ここ数年は横ばいの状態が続いています。待機児童の約9割が0～2歳児となっており、1歳児だけで全体の約5割を占めています。



	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
27年度待機児童数	59	165	62	30	3	3	322
26年度待機児童数	61	148	78	31	7	5	330
26年度と27年度との差	2減	17増	16減	1減	4減	2減	8減

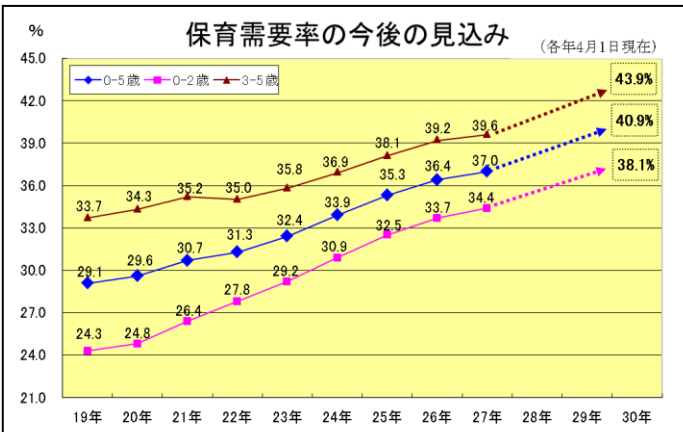
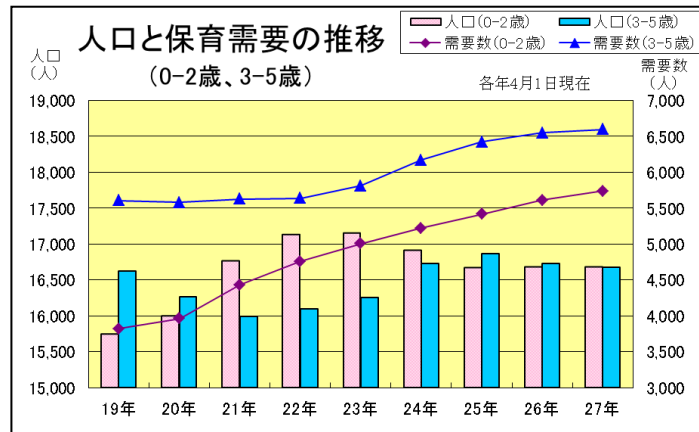
4. 策定の基礎資料

足立区待機児童解消アクション・プランの策定にあたっては、以下のような分析を行っています。細かい分析の内容は、「足立区待機児童解消アクション・プラン」本編をご覧ください。



	H23	H24	H25	H26	H27	前年比較
全体	5,590	5,540	5,496	5,454	5,551	97
0歳	5,790	5,629	5,661	5,610	5,550	-60
1歳	5,777	5,749	5,519	5,616	5,579	-37
2歳	5,552	5,731	5,691	5,474	5,575	101
3歳	5,538	5,504	5,674	5,642	5,455	-187
4歳	5,168	5,494	5,501	5,610	5,819	9
5歳	33,415	33,647	33,542	33,406	33,329	-77

	H23	H24	H25	H26	H27	前年比較
全体	17,157	16,918	16,676	16,680	16,680	0
0～2歳	16,258	16,729	16,866	16,726	16,649	-77



足立区待機児童解消アクション・プランは区HPからダウンロードできます。
 区のデータ・資料 > 区政運営 > 計画・報告 > 計画・指針 > 子育て・教育
 ※スマホ・タブレットからは右の二次元バーコードからアクセス可能です。



平成27年8月発行
 発行元：足立区教育委員会
 子ども家庭部 待機児ゼロ対策担当課
 〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1
 TEL03-3880-5759 FAX03-3880-5641

足立区待機児童解消アクション・プラン

【平成27年度概要版】

足立区では、待機児童の解消と多様化するニーズに的確に対応するため、足立区待機児童解消アクション・プランを策定し、各地域の状況等を分析したうえで、施設整備や利用者支援などの取り組みを行っています。今年度の改定では、平成27～29年度の3年間で、既存施設の定員増を含めて**1463人分の保育定員を増やす新規整備計画**を策定しました。あわせて保育サービスの周知と利用促進を図り、**平成30年4月の“待機児童ゼロ”**を目指します！

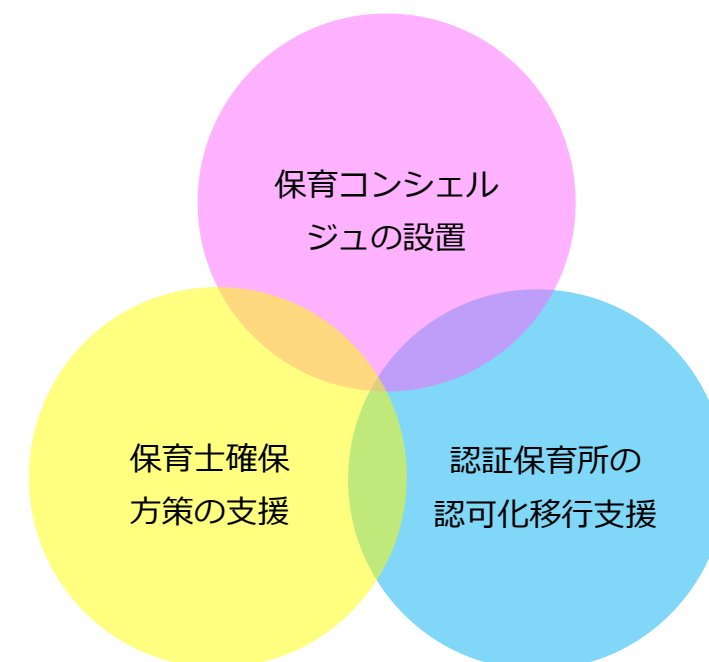
1. 待機児童ゼロに向けた取り組み その1【保育施設整備】

待機児童解消アクション・プランをこれまでの2か年計画から3か年計画に改め、先回りの保育施設整備を実施します。1463人分の保育定員整備の内訳は以下のとおりです。

保育施設等	平成27年度 整備内容	整備定員数(人)	平成28年度 整備内容	整備定員数(人)	平成29年度 整備内容	整備定員数(人)	合計(人)
認可保育所	5所 ・1ブロック千住河原町(計画変更) ・1ブロック千住龍田町(計画変更) ・1ブロック千住緑町(計画変更) ・2ブロック新田二丁目(計画変更) ・4ブロック梅島三丁目	70 80 80 60 85	4所(新規計画) ・1ブロック千住地域 ・2ブロック宮城・小台地域 ・5ブロック中央本町地域 ・8ブロック保塚・六町地域	85 60 80 100	4所(新規計画)	325	1025
認証保育所	1所(新規計画) ・1ブロック千住地域	40	1所(新規計画)	40	1所(新規計画)	40	120
家庭的保育	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	家庭的保育者15名	30	90
小規模保育	2施設 ・3ブロック興野・本木 ・5ブロック中央本町地域	15 15	2施設(新規計画)	30	2施設(新規計画)	30	90
(私立)認定こども園							0
公設民営 認可外保育施設							0
既存保育施設の増改築等	認可・認証・こども園等	138					138
	平成27年度 合計(人)	613	平成28年度 合計(人)	425	平成29年度 合計(人)	425	1463

2. 待機児童ゼロに向けた取り組み その2【施設整備以外の支援】

保育施設を整備するだけでなく、様々な取り組みから、“待機児童ゼロ”を目指します。



■ 保育コンシェルジュの設置

利用者の状況にあった保育施設の案内や、SNS等を活用した保育施設のPR活動を行います。

■ 保育士確保方策の支援


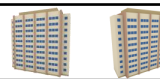
区内の保育施設養成校やハローワークと連携し、潜在保育士向けのセミナーや、新卒保育士向けの保育士就職相談会などを実施します。

■ 認証保育所の認可化移行支援

待機児童の多い地域で、0～2歳児の定員を増員しつつ、5歳児までの持ち上がり可能な定員設定を行える認証保育所について、認可保育所への移行支援を実施します。

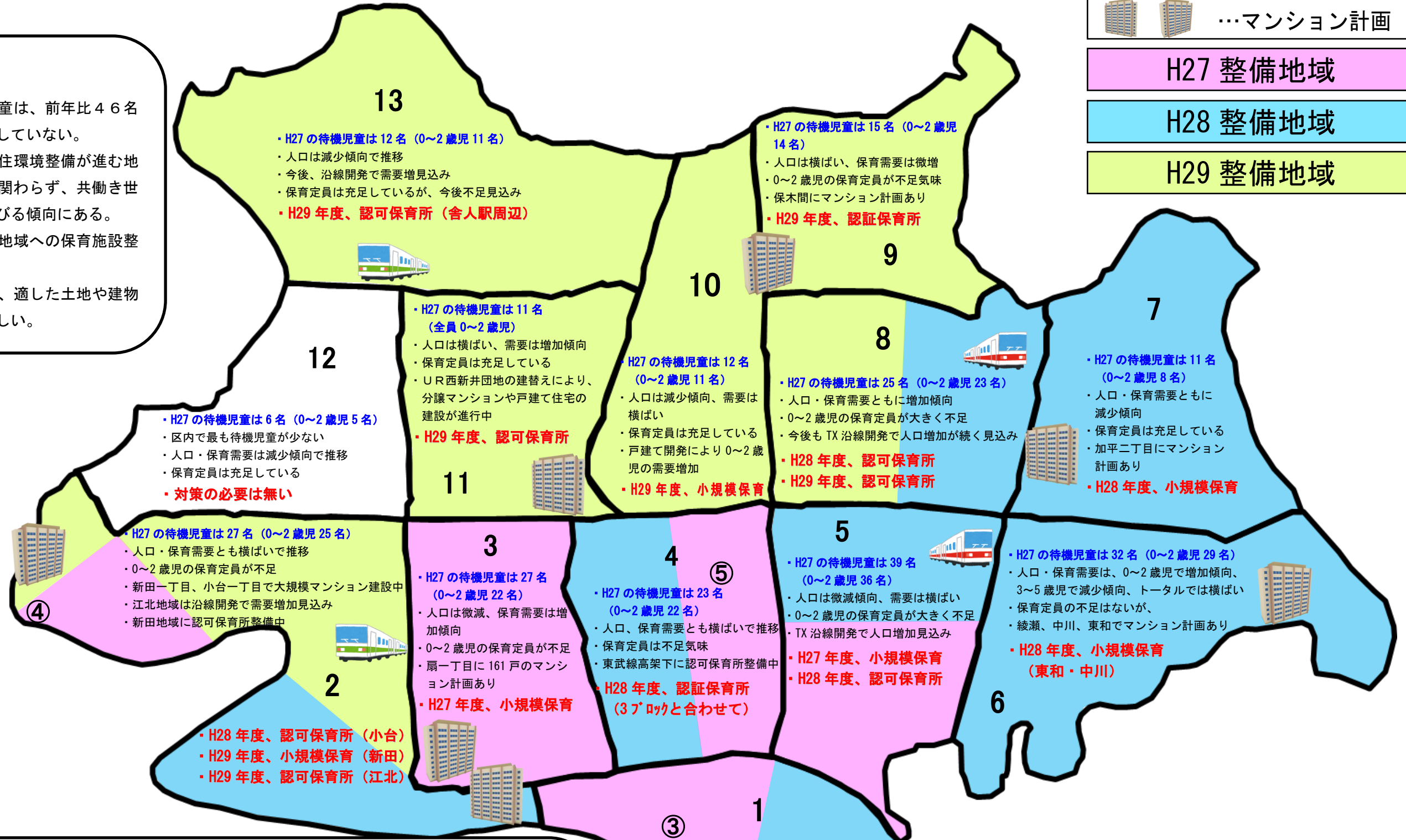


13 ブロック別 地域の状況と今後の保育施設整備計画

 ...沿線開発地域
 ...マンション計画
H27 整備地域
H28 整備地域
H29 整備地域

■解決すべき課題

- フルタイム就労世帯の待機児童は、前年比46名増の93名となり、依然解消していない。
- 大規模開発や沿線開発などで住環境整備が進む地域では、就学前人口の増減に関わらず、共働き世帯の増加により保育需要が伸びる傾向にある。
- 大規模開発や沿線開発が進む地域への保育施設整備が後追いとなっている。
- 保育施設を整備したい地域に、適した土地や建物が無いなど、物件の確保が難しい。



■施設整備方針

- フルタイム就労世帯の待機児童を解消する。
- 大規模開発や沿線開発が進んでいる地域では、保育需要が集中することから、居住地域内では需要を吸収しきれず、隣接地域に需要が分散する傾向がある。こうした需要の分散化を改善するため、保育需要が集中する地域に保育施設を整備する。
- 保護者の多様な保育ニーズに応えるため、各地域における待機児童世帯の就労状況等の傾向や既存保育施設の配置状況等を踏まえ、需要の実態に合わせた保育施設等をバランスよく設置する。
- 平成27年度から平成29年度までの3年間で1300人以上の定員整備を確実にを行い、平成30年4月の待機児童ゼロを目指す。

【整備中の認可保育所一覧】

記号	場所	開設日
①	千住河原町	H27年10月
②	千住緑町二丁目	H28年4月
③	千住龍田町	H28年4月
④	新田二丁目	H28年4月
⑤	梅島三丁目	H28年4月